

沿革 HISTORY

- 1985年7月 「甲南、甲賀に障がい者のための自立ホーム、共同作業所をつくる会」結成(32名)
- 1986年4月 無認可共同作業所補助金交付決定(通所者6名)
- 1986年12月 生活ホーム「やまなみ自立の家」(希望ヶ丘)開所、利用者3名でスタートする
- 1988年2月 施設整備計画(中期計画 1988~1991)検討、
移転について本格協議をスタート(通所者15名、職員3名)甲南町と移転問題について対応協議
- 1988年9月 中期計画に基づき、現作業所に隣接する民家一戸を借り受け、
「障がい者福祉ショップ、みどりの雑貨屋さん」開設
- 1989年8月 「建設推進委員会」を設置、甲南町をはじめ、関係諸機関と移転について協議
- 1990年4月 授産科目に「陶芸」、「手工芸」の二部門を開設、自主製品づくりがはじまる
- 1991年4月 地域作業所から法人認可施設をめざし、法人認可推進委員会準備会を設置、
法人認可施設づくりにむけて、本格協議がスタートする
- 1992年7月 甲南町稗谷地区へ作業棟一部移転「陶芸活動」の取り組みをスタートさせる
- 1993年4月 やまなみ共同作業所運営委員会総会において精神薄弱者授産施設(通所30名)
建設計画を全員一致で採択、法人認可運動が本格的にスタートする
- 1994年4月 やまなみ共同作業所法人認可推進計画を策定、これに基づき、甲南町と法内施設
移行について協議を重ね、県へ上程(事前協議)される
- 1995年4月 「甲南町福祉ゾーン計画」の中に法人認可施設建設のための用地が位置づけられ、
移転用地が確定すると同時に、平成8年着工、
平成9年5月開所にむけて準備が本格化する(通所者23名、職員10名)
- 1996年5月 甲南町より施設整備資金(20,000,000円)の補助及び土地の無償貸与(2,500㎡)確約を受ける
- 1996年7月 社会福祉法人やまなみ会の認可申請
- 1996年11月 「やまなみ工房」建設工事着工
- 1997年5月 平成8年度民間心身障がい児者社会福祉施設整備補助金(平成8年度分60%)交付決定
〔国庫補助(31,929,000円)県費(29,331,000円)〕
- 1997年6月 やまなみ工房設立コンサート開催、支援者後援会員等450名参加、地域の共感と理解を深める
- 1997年7月 1日、新施設「やまなみ工房」開所(定員30名)
- 1998年4月 無認可作業所「ゆとりあ」(精神)開所
- 1999年4月 定員37名に改定、入所者35名となる
- 2000年4月 定員40名に改定、入所者41名となる
- 2000年7月 甲南町研修センターを借り受け喫茶コーナーを開設
- 2000年7月 精神障がい者共同作業所ゆとりあ公益事業となる
- 2002年3月 精神障がい者授産施設(通所)ゆとりあ建設工事完成
- 2002年4月 ころぼっくる作業棟建設工事完成
- 2002年4月 精神障がい者授産施設(通所)ゆとりあ認可、第2種社会福祉事業となる
- 2004年4月 定員45名に改定、入所者43名となる
- 2004年8月 甲南町図書館喫茶コーナーを借り受ける
- 2005年1月 甲賀市役所甲南庁舎喫茶コーナーを借り受ける
- 2006年4月 定員40名に改定、入所者44名となる
- 2006年5月 忍びの里プララ喫茶コーナーを借り受ける
- 2008年8月 もくもく新作業棟建設工事完成
- 2009年5月 ケア・グループホーム「フルハウス」(5名定員)開設
- 2011年4月 「ゆとりあ」が障がい者就労継続支援B型施設(20名定員)へ事業移行(現員30名)
「ゆとりあ」新作業棟増築工事完成
- 2011年5月 やまなみWE GO PROJECT 発足
- 2012年1月 やまなみ工房が多機能型事業所(就労継続B型25名・生活介護15名)へ事業移行(現員55名)
- 2012年6月 やまなみ工房新作業棟増築工事完成
「Studioこっとな」「ギャラリー-gufguf」「カフェhughug」
「プライベートブランド&ショップGooChieGoo」「ライブハウスBanBooBon」がオープン
- 2013年4月 やまなみ工房が多機能型事業所が定員60名に定員拡大(就労継続支援B型20名、生活介護40名)
- 2013年6月 清水基金の助成により「アトリエころぼっくる作業棟」が増築

